

オーストラリア市場レポート

豪州準備銀行は5会合連続で政策金利の据え置きを決定

- 豪州準備銀行(RBA)は5会合連続での政策金利据え置きを決定。引き続き、当面の政策の様子見姿勢を示唆。
- 海外市場に関するRBAの懸念は幾分後退した模様。RBAは緩やかな景気拡大が続いているとの景気判断を維持。
- RBA総裁は中立的な金融政策方針を示す。市場コンセンサスは2016年末までの金利据え置きを予想。
- ①RBAの豪ドル高への警戒姿勢緩和②鉄鉱石価格の安定③米利上げ観測の後退は、豪ドル相場の安定要因に。

豪州準備銀行は5会合連続で政策金利据え置き

豪州準備銀行(RBA)は10月6日の金融政策理事会において、5会合連続で政策金利を2.00%で据え置く決定をしました(図1)。

スティーブンスRBA総裁の声明では、中国市場の急変動に関する先月の言及は削除され、「(世界的に)株式市場の変動が続いているものの、金融市場の機能は全体としては損なわれていない」との見方が示されました。米国の利上げ時期に関する不透明感が残されているものの、海外市場に関するRBAの懸念は幾分後退した模様です。

RBAは景気判断と政策の様子見姿勢を維持

一方、RBAの国内景気判断に関しては、「多くの利用可能な情報は緩やかな景気拡大を示している」との従来通りの見方が継続して示されました。また、金融政策に関しても、「政策金利の据え置きが適切」と述べられ、当面は経済・金融市場の動向を注視しながら、様子見姿勢を継続する方針が示されました。

一部の市場関係者の間では、2016年初めにかけてRBAによる追加利下げを予想する見方もあるものの、スティーブンス総裁は金融政策の中立的な方針を維持したほか、現在の市場コンセンサスでも政策金利は2016年末まで2.00%で据え置かれるとの見方が大勢となっています。

足元の豪ドル相場は安定的な推移が続く

足元の為替市場では、豪ドルの対米ドル相場は1豪ドル＝0.70米ドル前後、対円相場は1豪ドル＝85円前後で安定的な推移が続いています(図2)。特に、①RBA理事会の声明文で豪ドル相場への警戒姿勢は示されなかったこと、②中国向けの鉄鉱石価格も1トン＝55米ドル前後での安定した推移が続いていること、③米国での利上げ開始観測が後退しつつあることなどは、当面の豪ドル相場の安定に寄与すると期待されます。

図1: 豪州準備銀行(RBA)の政策金利の推移

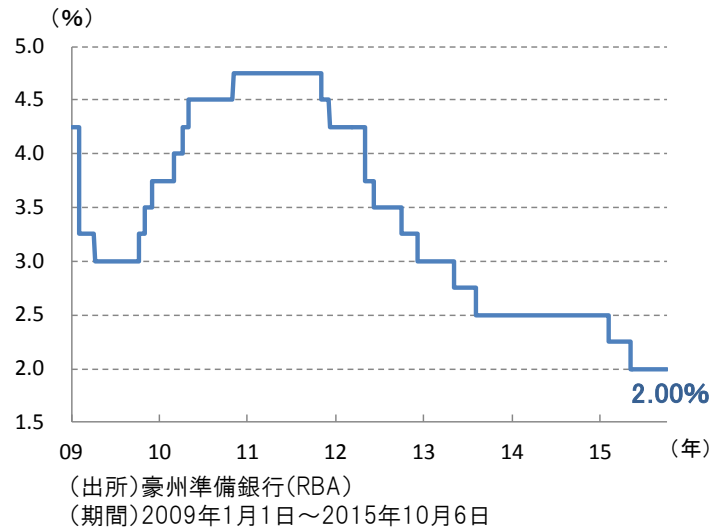
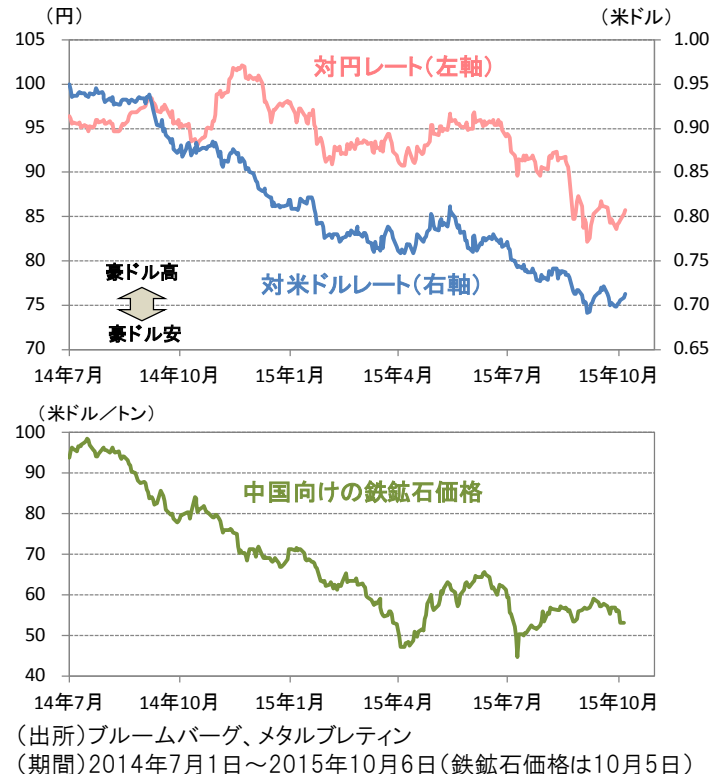


図2: 豪ドル相場と中国向け鉄鉱石価格の推移



●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。